

3 なりわいの再生

第1期復興実施計画の「事業進捗」に係る出典データ

復興実施計画（第1期）の施策体系・事業に基づく進捗状況〔平成26年5月26日〕

区分	対第1期末目標進捗率
A	100%以上
B	100%未満 80%以上
C	80%未満 60%以上
D	60%未満

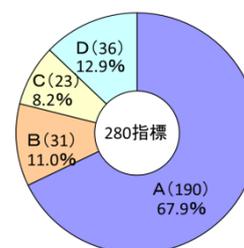
分野全体

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 78.9%（221指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 21.1%（59指標）

実質的遅れ 4.6%（13指標）

【対第1期末目標】



分野

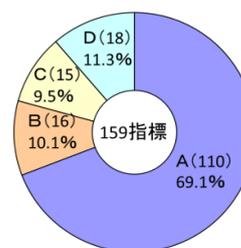
分野Ⅰ 水産業・農林業

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 79.2%（126指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 20.8%（33指標）

実質的遅れ 6.9%（11指標）

【対第1期末目標】



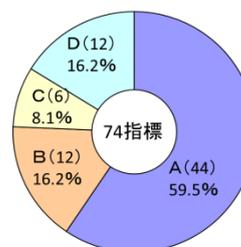
分野Ⅱ 商工業

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 75.7%（56指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 24.3%（18指標）

実質的遅れ 1.4%（1指標）

【対第1期末目標】



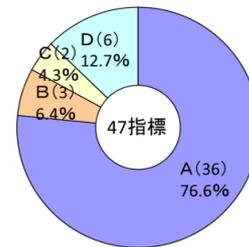
分野Ⅲ 観光

【対第1期末目標】

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」(80%以上) 83.0% (39指標)
- ・「C」及び「D」(80%未満) 17.0% (8指標)

実質的遅れ 2.1% (1指標)



3 なりわいの再生

県民の復興の実感を示す「県民意識」に係る出典データ

平成 26 年【第 1 回】 いわて復興ウォッチャー調査〔平成 26 年 3 月 28 日〕

○地域経済の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が46.9%と前回（48.8%）を1.9ポイント下回った。

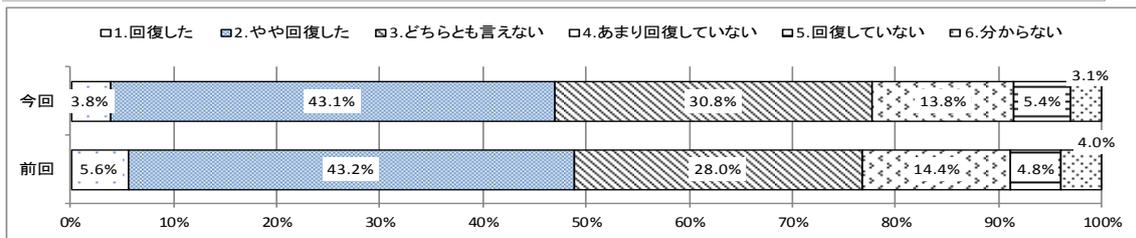
○地域別では、「回復した」「やや回復した」の合計が、沿岸北部では56.1%と前回（47.6%）を8.5ポイント上回ったが、沿岸南部では42.6%と前回（49.4%）を6.8ポイント下回った。

○直近3ヶ月の回復の進捗状況を見ると、「やや進んでいる」の割合が38.5%と最も高く、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が43.9%と前回（37.9%）を6.0ポイント上回った。

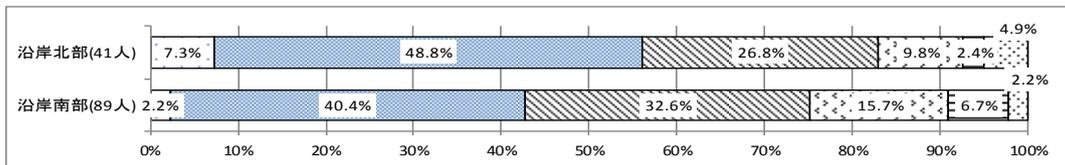
大型店進出による雇用・消費拡大への期待や漁業の好況を前向きに評価する声がある一方、地元商店街等の先行きを不安視する声もあった。

① 地域経済の回復度（震災以降における全体の回復状況）

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

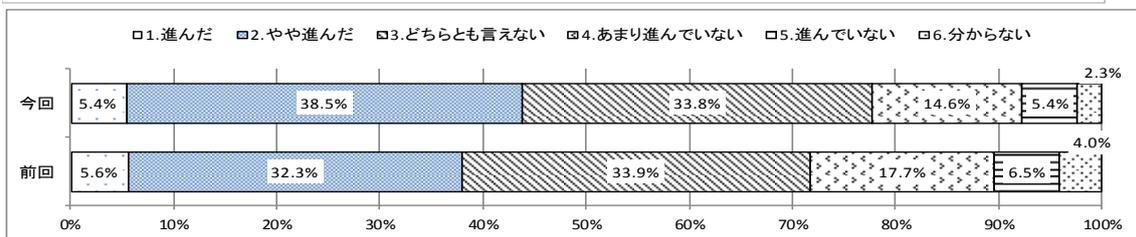


地域別

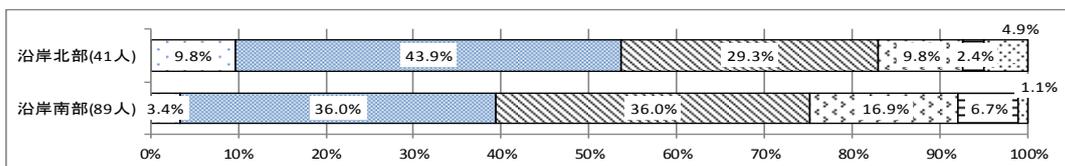


② 直近3ヶ月間（概ね12月から2月）の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の（3ヶ月程度）地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



地域別



* ○内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する理由[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.回復した」 又は 「1.進んだ」 の理由	<p>◆復興特需により活気があるが、未来の発展性はない。被災前より過剰に設備をした分、景気は一気に落ち込むと思う。事業復興型雇用創出助成金の事務手続きが遅々として進まず、もったいないことになっている。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>
「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んだ」 の理由	<p>◆水産物の流通形態が、震災前とかなり変化しており、震災以前のような物流ができなくなって来た。福島原発事故による風評被害によるものや、2年間三陸産の水産物が出荷されないための、仲介人や市場の顧客等のシフトや変化等が考えられる。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆ワカメ、ホタテガイ養殖が復旧し、今季から待望の養殖カキの出荷が始まった。昨年、悲願の町内2箇所の魚市場の復興が成り、浅海養殖生産処理共同施設が建設されてきた。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆近くに大型スーパーが出来てから家がたくさん建って来ているので、町の人口の流出を取り戻すきっかけとなり、今後の経済の回復に期待する。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆やっと目に見える形で大型スーパーや店が建ってきた。「行ってみよう」「あの店で買ってみよう」と購買意欲が高まってきている。鮭がまた戻ってくるようになったことや養殖産業が復活してきたことを感じる。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆ホテルや大型店が新設された。被災した飲食店なども再開してきている。水産業には活気が感じられる。ワカメやコンブなど海産物に磯の香りを感じる。三陸鉄道的全線開通を楽しみにしている。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆水産業の方もだいぶ回復しているのか、求人が出ているのを目にした。人が足りないくらい忙しくなってきたのかと感じた。母も漁業関係で働いているが、忙しそうにしている。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆人口の流出、住宅から店舗までの足がない、若い人達は町外に買い物に行く。毎日の買い物は、スーパーに行き食品を買うだけです。仮設店舗の通りは人通りもなく大変です。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆両親が自営業で自宅と工場、事務所のすべてを失った。機械やトラック等を買って揃えるのには億単位の資金が必要で、借金するにも今後の見通しが立たない。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆地元企業が働き手の募集をかけても集まってくない。どの業界でもこの問題が大きくなっている。復興の為に他県からの応援企業に就職する方々もいる。どこか歯車が噛みあてない気がする。(60歳以上、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆他地域での復興事業が本格化したことでより生活向上がみられる地域への流出が顕著になってきた感がある。ウニ・わかめ等の水産業関係は以前より回復の度合いが早くなったように感じられる。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆観光業、商店街は苦戦しているようだ。宿泊客は主にビジネスマン、復興関係の作業員、出張者で、仮設宿泊所を会社で建てたりしている。仮設商店街のお客様が、以前に比べてずいぶん減っているのも心配だ。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p>
「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆魚価は上がらない。水産加工工場は労働がきつい割には賃金が安い。働き手は町から出て行く。働く所と賃金問題で外で結婚して子供が出来ればそこに住み付いて戻れない。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆生産体制は、海上施設が進んでいるが、陸上施設、船着き場が少ない。漁協の金融体制が生きていないので、組合員の生産者が資金等で苦勞している。資材、燃料が高く、魚価は安く、漁に出られない状況である。(60歳以上、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆一次産業基盤の復旧は途上で、土地区画整理の造成との整合の為、水利の変更等もとれない、高台の農地等も管理作業にしろよせが来る。「所得に結びつかない作業量が多くて困る。」と云う話を良く聞く。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆新年を迎えての情報。初売りに町民があまり集まらない。他市町村の大型店に買い物に出かけることが多くなっているとのことである。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>

注1)「理由」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2)回答区分別の理由数は、回答区分の比率に概ね準じています。

注3)掲載内容は、意見の多かった内容、回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連： 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者
 教育・福祉施設関連： 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者
 産業・経済・雇用関連： 漁業・農業の従事者/就業支援員等雇用支援機関の関係者/金融機関の関係者

3 なりわいの再生

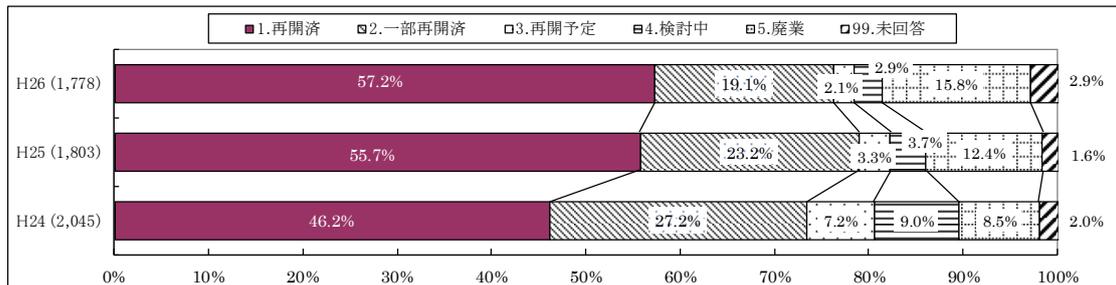
復興の状況を示す「客観指標」及び県民の復興の実感を示す「県民意識」に係る出典データ

平成 26 年【第 1 回】 被災事業所復興状況調査〔平成 26 年 3 月 28 日〕

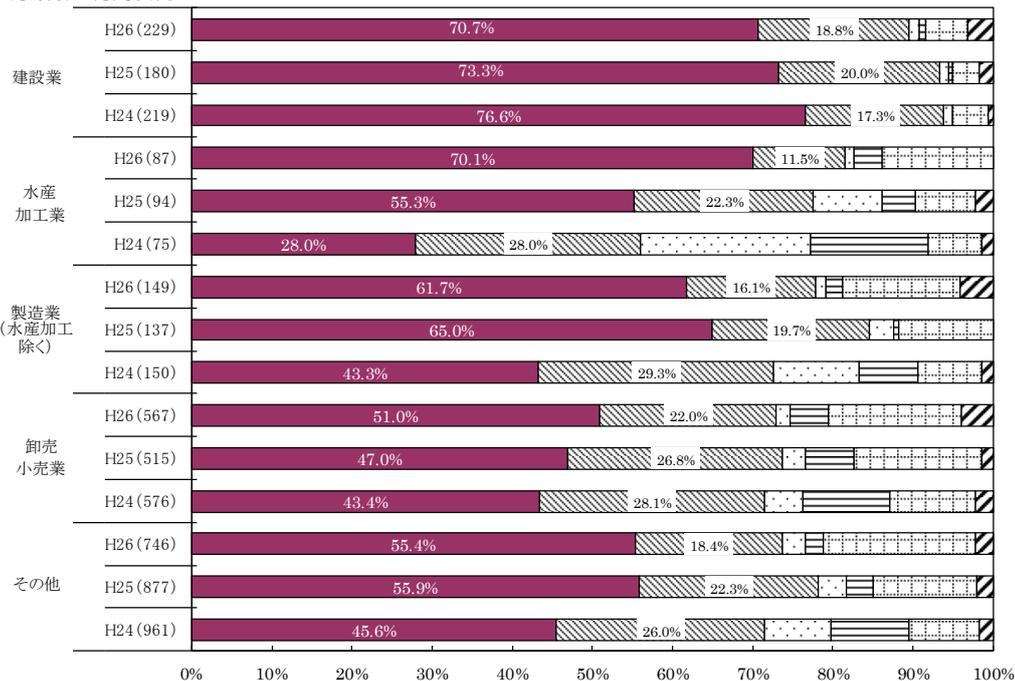
事業再開の有無

- 事業所の再開状況では、「再開済」又は「一部再開済」と回答した事業所は76.3%で、前年（78.9%）と比べて2.6ポイント低下した。
- 産業分類別では、「再開済」又は「一部再開済」と回答した事業所は、建設業が89.5%（205/229：前年93.3%）で最も割合が高く、卸売小売業が73.0%（414/567：前年73.8%）で最も割合が低かった。
- 事業を再開した場所（予定を含む）は、「同じ市町村内」（震災前と同じ場所又は同じ市町村で異なる場所の合計）と回答した事業所が93.8%（1,356/1,446）であった。

① 事業再開の状況

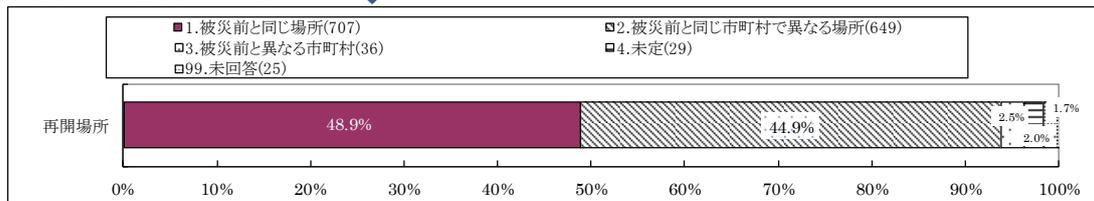


<産業分類別の再開状況>



② 再開又は再開予定の場所

1.再開済、2.一部再開、3再開予定、4.再開を検討中を選択した事業所のみ回答



※1: 凡例内の()は、各回調査の集計対象事業所数を示す。

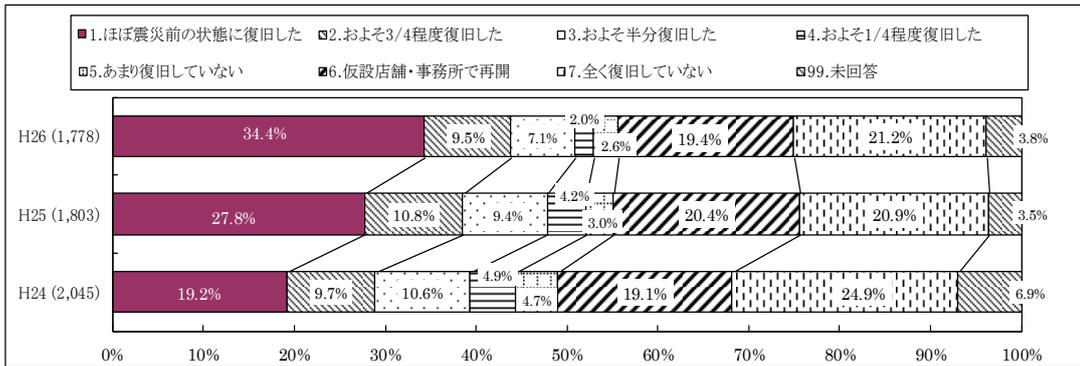
※2: 全体及び産業分類集計の「廃業」には、今回(H26)調査で「廃業」と回答した19事業者に、これまでの調査で「廃業」が確認された262事業者を加えた。

事業所の復旧状況

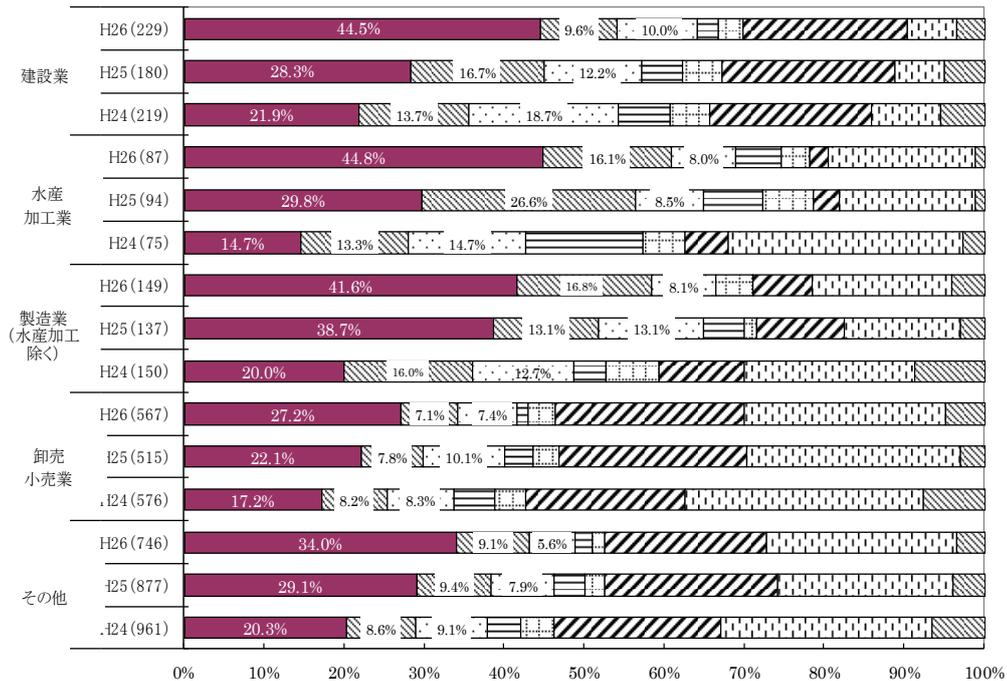
○直接被害を受けた建物や設備の復旧状況では、「およそ半分以上復旧」と回答した事業所は51.0%（906/1,778）で、前年（48.0%）と比べて3.0ポイント上昇した。一方で、「復旧が進んでいない（5,7の合計）」と回答した事業所は23.8%（424/1,778）で、前年（23.9%）と同水準であった。

○産業分類別では、「およそ半分以上復旧」と回答した事業所は、水産加工業が69.0%（60/87：前年64.9%）で最も割合が高く、卸売小売業が41.6%（236/567：前年40.0%）で最も割合が低かった。

○前年調査と比較すると、「およそ半分以上復旧」と回答した事業所の割合が最も上昇したのは建設業で、前年（57.2%）から6.9ポイント上昇し64.2%（147/229）であった。



<産業分類別の事業所の復旧状況>



※1: 凡例内の()は、各回調査の集計対象事業所数を示す。

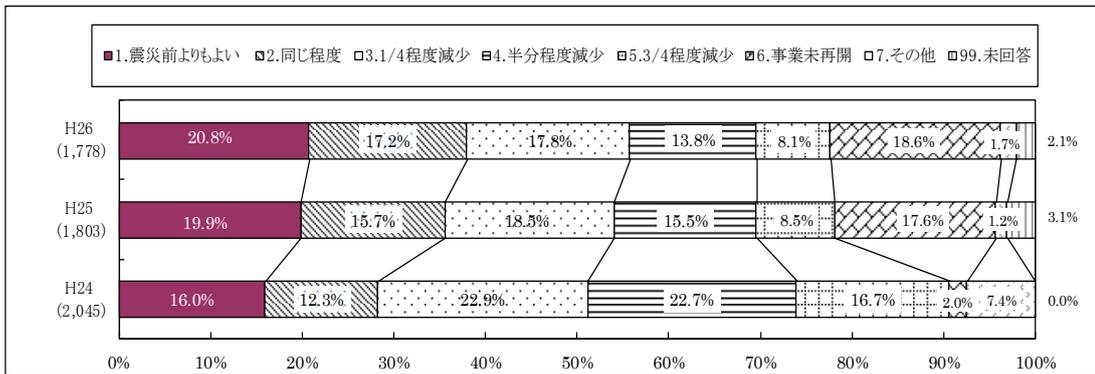
※2: 全体及び産業分類別集計の「全く復旧していない」には、今回(H26)調査で「全く復旧していない」と回答した115事業者に、これまでの調査で「廃業」が確認された262事業者を加えた。

3 なりわいの再生

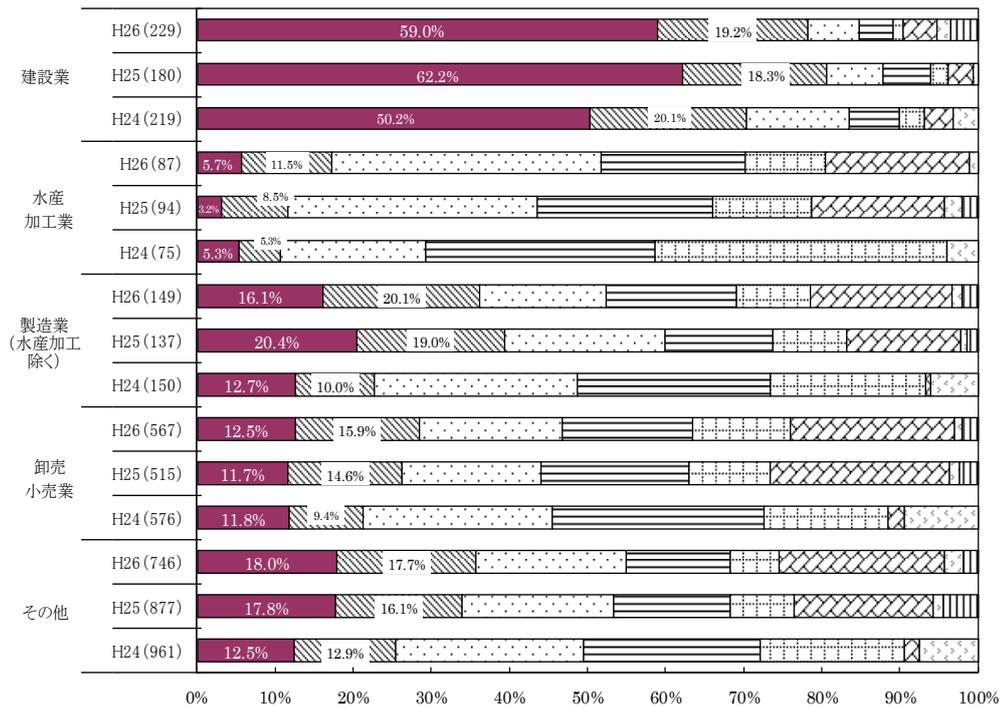
業績(売上等)の状況

○業績(売上等)の状況では、「震災前と同程度又は上回っている」と回答した事業所は38.0% (675/1,778) で、前年(35.6%) から2.4ポイント上昇した。一方、「震災前よりも減少した」と回答した事業所の割合は58.3% (1,036/1,778) で、前年(60.1%) から1.8ポイント良好化した。

○産業分類別では、「震災前と同程度又は上回っている」と回答した事業所は、建設業が78.2% (179/229：前年80.6%) で最も割合が高かった。最も割合が低かったのは水産加工業の17.2% (15/87：前年11.7%) であったが、5.5ポイントの上昇は、全産業中最も高かった。



<産業分類別の業績(売上等)の変化>

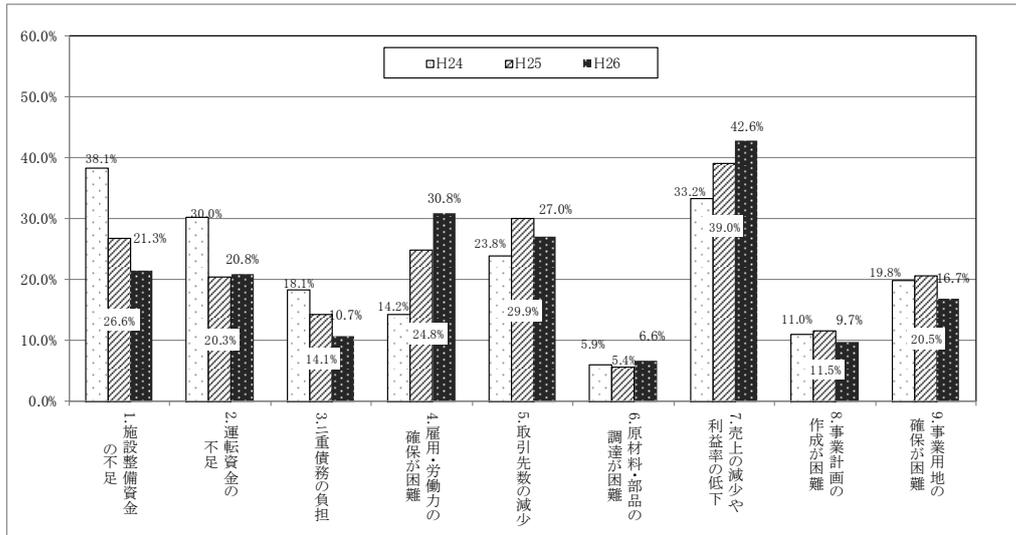


※1: 凡例内の()は、各回調査の集計対象事業所数を示す。

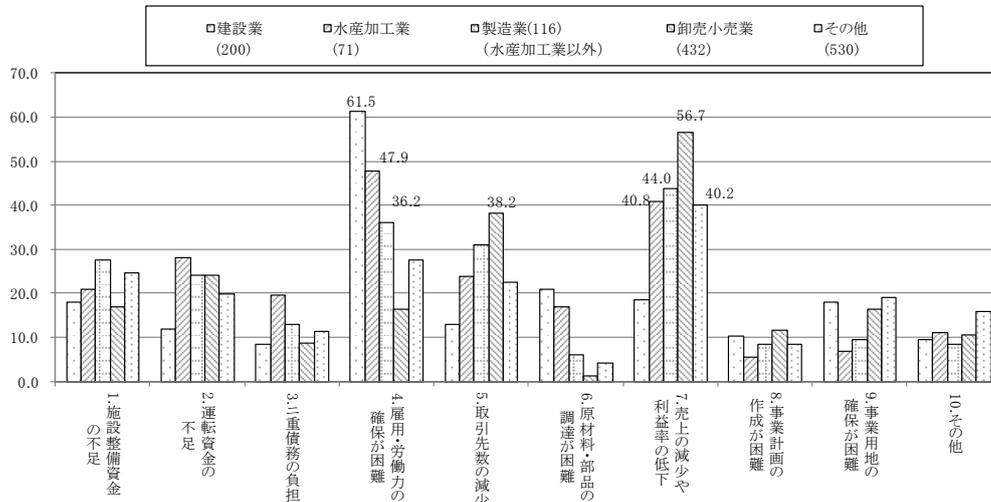
※2: 全体及び産業分類別集計の「事業が再開していない」には、今回(H26)調査で「事業が再開していない」と回答した68事業者に、これまでの調査で「廃業」が確認された262事業者を加えた。

現在の課題

○現在抱えている課題（3つ選択）では、「売上・利益率の低下」と回答した事業者が42.6%（575/1,349）で最も割合が高く、次いで「雇用の確保（30.8%）」の割合が高かった。前年と比較すると、「雇用の確保」と回答した事業者の割合が6.0ポイント上昇したほか、「売上・利益率の低下」が3.6ポイント、「原材料等の調達」が1.2ポイント、「運転資金の不足」が0.5ポイント、それぞれ上昇した。
 ○産業分類別では、建設業で「雇用の確保（61.5%）」の割合が最も高い。
 水産加工業では、「雇用の確保（47.9%）」「売上・利益率の低下（40.8%）」の割合が、製造業では、「売上・利益率の低下（44.0%）」「雇用の確保（36.2%）」の割合が高い。
 卸売小売業では、「売上・利益率の低下（56.7%）」「取引先の減少（38.2%）」の割合が、その他の産業では「売上・利益率の低下（40.2%）」の割合が高い。



<産業分類別の課題>



※凡例内の()は、各回調査の集計対象事業所数を示す。

Ⅰ 水産業・農林業

第1期復興実施計画の「事業進捗」に係る出典データ

復興実施計画（第1期）の施策体系・事業に基づく進捗状況〔平成26年5月26日〕

区分	対第1期末目標進捗率
A	100%以上
B	100%未満 80%以上
C	80%未満 60%以上
D	60%未満

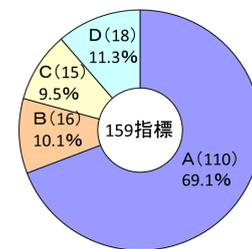
分野全体

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 79.2%（126指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 20.8%（33指標）

実質的遅れ 6.9%（11指標）

【対第1期末目標】



取組項目

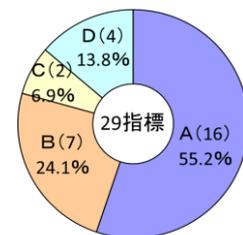
取組項目① 漁業協同組合を核とした漁業、養殖業の構築

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 79.3%（23指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 20.7%（6指標）

実質的遅れ 6.9%（2指標）

【対第1期末目標】



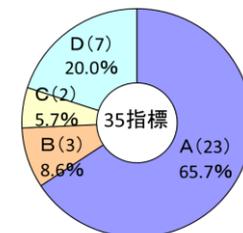
取組項目② 産地魚市場を核とした流通・加工体制の構築

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 74.3%（26指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 25.7%（9指標）

実質的遅れ 2.9%（1指標）

【対第1期末目標】



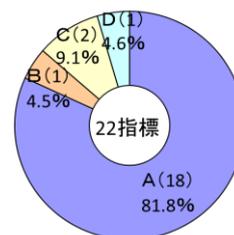
取組項目③ 漁港等の整備

【対第1期末目標】

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」(80%以上) 86.4% (19指標)
- ・「C」及び「D」(80%未満) 13.6% (3指標)

実質的遅れ 13.6% (3指標)



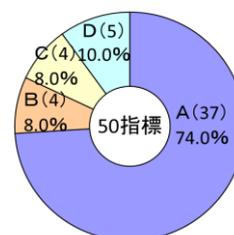
取組項目④ 地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業の実現

【対第1期末目標】

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」(80%以上) 82.0% (41指標)
- ・「C」及び「D」(80%未満) 18.0% (9指標)

実質的遅れ 6.0% (3指標)



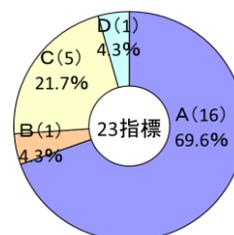
取組項目⑤ 地域の木材を活用する加工体制等の再生

【対第1期末目標】

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」(80%以上) 73.9% (17指標)
- ・「C」及び「D」(80%未満) 26.1% (6指標)

実質的遅れ 8.7% (2指標)



3 なりわいの再生－Ⅰ 水産業・農林業

復興実施計画における主な取組の進捗状況（平成26年4月）〔平成26年4月24日〕

1 共同利用漁船等復旧支援対策事業

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
補助事業による 新規登録漁船数	6,800隻	6,324隻	93.0%

（H26.3.31現在）

2 水産業経営基盤復旧支援事業（養殖施設）

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
整備施設数	19,885台	17,329台	87.1%

（H26.3.31現在）

3 種苗生産施設の復旧・整備

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
着工施設数	5施設	5施設	100.0%
整備完了施設数	5施設	5施設	100.0%

（H26.3.31現在）

4 水産業流通・加工関連施設復旧支援

区 分	着工施設数	うち竣工施設数
魚市場等荷捌き施設	50箇所	40箇所
製氷・貯氷施設	20箇所	20箇所
冷凍冷蔵施設	36箇所	33箇所
加工処理施設	27箇所	24箇所
合 計	133箇所	117箇所

（H26.3.31現在）

5 漁港災害復旧事業（漁港施設等本復旧）

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
潮位にかかわらず陸揚げが 可能な漁港数	31漁港	31漁港	100.0%
【参考】岸壁等の復旧延長	20.7km	13.1km	63.2%

(H26.3.31現在)

6 漁業用施設災害復旧事業（漁場施設等本復旧）

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
復旧完了地区数	21地区	21地区	100.0%

(H26.3.31現在)

7 被災地域農業復興総合支援事業（整備事業）

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
事業実施地区数	10箇所	9箇所	90.0%

(H26.3.31現在)

8 農地等災害復旧事業

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
本復旧着工面積	264 ha	242 ha	91.2%

(H26.3.31現在)

9 農用地災害復旧関連区画整理事業

	着工計画（累計）	実績値（累計）	計画に対する達成率
区画整理着工面積	218 ha	211 ha	96.8%

(H26.3.31現在)

10 木材加工流通施設等復旧対策事業

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
木材加工施設整備事業体数	10事業体	8事業体	80.0%

(H26.3.31現在)

復興状況を示す「客観指標」に係る出典データ

いわて復興インデックス報告書（第10回）〔平成26年5月26日〕

【水産業】

●補助事業による新規登録漁船数（累計）（沿岸）〔平成23年4月～平成26年4月：94.6%（整備率）〕

指標				データ（累計）			
第2回 (H24.4末)	第6回 (H25.4末)	第10回 (H26.4末)	項目	第2回 (H24.4末)	第6回 (H25.4末)	第10回 (H26.4末)	単位
—	83.8%	94.6%	整備率	—	5,698	6,332	隻

平成23年4月から平成26年4月までの県の補助事業による新規登録漁船数(累計)は6,332隻であり、平成27年度までの補助事業による整備目標数(6,693隻)に対する整備率は94.6%となっている。

*第6回の指標は、平成25年度までの整備目標数(6,800隻)に対する整備率としている。

●養殖施設整備台数（累計）（沿岸）〔平成23年4月～平成26年3月：87.1%（整備率）〕

指標				データ（累計）			
第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	項目	第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	単位
54.8%	85.8%	87.1%	整備率	10,905	17,062	17,329	台

平成23年4月から平成26年3月までの養殖施設整備台数(累計)は17,329台であり、平成23年度から25年度までの整備計画数(19,885台)に対する整備率は87.1%となっている。

●産地魚市場水揚量（年度累計）（沿岸）〔平成25年4月～平成26年3月：63.9%（3年平均比）〕

指標				データ（年度累計）			
第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	項目	第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	単位
55.1%	66.6%	63.9%	3年平均比	93,695	113,381	108,320	トン

平成25年4月から平成26年3月までの産地魚市場水揚量(年度累計)は108,320トンであり、平成20年度から22年度までの3年間の同期間における産地魚市場水揚量の平均値の63.9%となっており、前年同期間との比較では4.5%減となっている。

●養殖生産量（年度累計）（沿岸）〔平成25年4月～平成26年3月：59.1%（3年平均比）〕

指標				データ（年度累計）			
— (H24.3末)	— (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	項目	— (H24.3末)	— (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	単位
1.3%	45.0%	59.1%	3年平均比	599	21,474	28,170	トン

平成25年4月から平成26年3月までの養殖生産量（年度累計）は28,170トンであり、平成20年度から22年度までの3年間の同期間における養殖生産量の平均値の59.1%となっており、昨年同期間との比較では31.2%増となっている。

【農 業】

●農地復旧率（沿岸）〔平成26年4月30日：89.1%（復旧率）〕

指標				データ（累計）			
第2回 (H24.4末)	第6回 (H25.4末)	第10回※ (H26.4末)	項目	第2回 (H24.4末)	第6回 (H25.4末)	第10回※ (H26.4末)	単位
30.9%	61.1%	89.1%	復旧率	96	190	401	ha

平成26年4月30日現在の沿岸地域の復旧済農地面積は401haであり、平成28年度までの復旧対象農地面積（累計450ha）に対する復旧率は89.1%となっている。

※第2回及び第6回の指標は、平成25年度までの復旧対象農地面積（311ha）に対する復旧率としている。

県民の復興の実感を示す「県民意識」に係る出典データ

平成 26 年 復興に関する意識調査〔平成 26 年 4 月 24 日〕

◇地域の特性を生かした農林水産業の振興

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.43、進捗への実感は 2.53 となっている。復興促進ニーズ度は 1.90 に減少したが、順位は 23 位から 16 位に上昇している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.43	4.48	4.54	2.53	2.38	2.21	1.90 (16)	2.10 (23)	2.33 (21)
沿岸部	4.49	4.50	4.60	2.61	2.42	2.16	1.89 (12)	2.08 (17)	2.44 (16)
沿岸北部	4.49	4.51	4.53	2.79	2.46	2.29	1.70 (12)	2.05 (13)	2.23 (12)
沿岸南部	4.49	4.50	4.62	2.55	2.41	2.11	1.95 (12)	2.09 (18)	2.51 (16)
内陸部	4.41	4.47	4.52	2.50	2.37	2.23	1.91 (18)	2.11 (23)	2.30 (21)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇被災した漁船や養殖施設などの復旧・整備

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.68、進捗への実感は 2.78 といずれも高く、復興促進ニーズ度は 1.90 に減少したが、順位は昨年と同程度の 17 位で推移している。これを地域別に見ると、沿岸南部では 27 位だが沿岸北部では 18 位（沿岸南部<沿岸北部）であり、また、沿岸部では 24 位だが内陸部では 15 位（沿岸部<内陸部）と、それぞれに順位の大きな乖離が生じている。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.68	4.71	4.76	2.78	2.39	2.10	1.90 (17)	2.32 (16)	2.66 (9)
沿岸部	4.61	4.67	4.75	3.14	2.76	2.20	1.48 (24)	1.92 (21)	2.55 (11)
沿岸北部	4.72	4.72	4.73	3.24	2.85	2.52	1.48 (18)	1.87 (19)	2.21 (13)
沿岸南部	4.57	4.66	4.76	3.10	2.71	2.08	1.47 (27)	1.94 (21)	2.68 (9)
内陸部	4.70	4.71	4.76	2.69	2.29	2.07	2.01 (15)	2.42 (14)	2.69 (9)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇被災した漁港の復旧・整備

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.71 と高い水準にあり、進捗への実感は 2.62 に増加、復興促進ニーズ度は 2.08 に減少し、順位も 13 位と若干下降している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.71	4.74	4.77	2.62	2.19	1.98	2.08 (13)	2.55 (10)	2.80 (5)
沿岸部	4.63	4.69	4.76	2.84	2.40	1.95	1.79 (16)	2.30 (9)	2.81 (5)
沿岸北部	4.73	4.71	4.73	3.18	2.72	2.36	1.55 (16)	1.99 (17)	2.37 (7)
沿岸南部	4.59	4.68	4.78	2.71	2.26	1.79	1.88 (15)	2.42 (9)	2.98 (4)
内陸部	4.72	4.75	4.78	2.56	2.14	1.99	2.16 (12)	2.61 (9)	2.79 (7)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇水産加工品の製造再開や県内外での販売の回復

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.59、進捗への実感は 2.78 となっており、復興促進ニーズ度は 1.80 に減少、順位も 21 位と若干下降している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.59	4.64	4.69	2.78	2.42	2.16	1.80 (21)	2.22 (18)	2.54 (14)
沿岸部	4.52	4.60	4.65	2.95	2.64	2.18	1.57 (21)	1.96 (19)	2.47 (15)
沿岸北部	4.55	4.65	4.64	3.16	2.74	2.44	1.39 (20)	1.92 (18)	2.20 (14)
沿岸南部	4.51	4.58	4.65	2.87	2.59	2.07	1.63 (22)	1.98 (20)	2.58 (14)
内陸部	4.60	4.65	4.70	2.74	2.37	2.15	1.86 (21)	2.29 (18)	2.55 (14)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇被災した農地などの復旧・整備

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.56、進捗への実感は 2.36 となっており、復興促進ニーズ度は 2.20 に減少したものの、順位は昨年と同程度の 9 位から 8 位となっているが、これを地域別に見ると、沿岸部で 14 位、内陸部で 5 位と順位の大きな乖離（沿岸部<内陸部）が見てとれる。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.56	4.60	4.65	2.36	2.03	1.89	2.20 (8)	2.57 (9)	2.77 (7)
沿岸部	4.42	4.52	4.58	2.61	2.28	2.02	1.81 (14)	2.24 (12)	2.56 (10)
沿岸北部	4.51	4.61	4.65	2.87	2.52	2.30	1.64 (14)	2.09 (9)	2.35 (9)
沿岸南部	4.38	4.48	4.55	2.51	2.17	1.92	1.87 (17)	2.30 (12)	2.64 (10)
内陸部	4.60	4.62	4.67	2.29	1.97	1.86	2.30 (5)	2.65 (8)	2.82 (6)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇被災した木材加工施設などの復旧・整備

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.37、進捗への実感は 2.52 となっており、復興促進ニーズ度は 1.85 に減少したものの、順位は昨年と同程度で推移している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.37	4.38	4.48	2.52	2.21	2.02	1.85 (19)	2.17 (20)	2.46 (18)
沿岸部	4.28	4.31	4.45	2.67	2.47	2.15	1.61 (20)	1.84 (23)	2.30 (18)
沿岸北部	4.36	4.39	4.41	2.95	2.66	2.32	1.41 (19)	1.73 (22)	2.09 (20)
沿岸南部	4.25	4.28	4.47	2.56	2.40	2.08	1.69 (20)	1.88 (23)	2.38 (18)
内陸部	4.38	4.40	4.49	2.52	2.14	1.99	1.87 (20)	2.25 (19)	2.50 (17)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

〔用語の説明 復興に関する意識調査〕

復興促進ニーズ度：次式により、「重要度」の値から「進捗への実感」の値を減じて算出する。

$$\text{「復興促進ニーズ度」} = \text{「重要度」} - \text{「進捗への実感」}$$

重要度が高く、住民の復旧・復興の実感が低い状態を復興を急ぐニーズが高いと読む。

なお、順位は調査を行った 29 項目の中で数値が高い順位。



II 商工業

3 なりわいの再生

第1期復興実施計画の「事業進捗」に係る出典データ

復興実施計画（第1期）の施策体系・事業に基づく進捗状況〔平成26年5月26日〕

区分	対第1期末目標進捗率
A	100%以上
B	100%未満 80%以上
C	80%未満 60%以上
D	60%未満

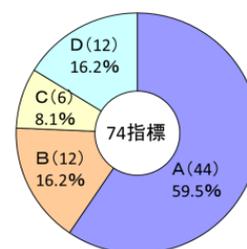
分野全体

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 75.7%（56指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 24.3%（18指標）

実質的遅れ 1.4%（1指標）

【対第1期末目標】



取組項目

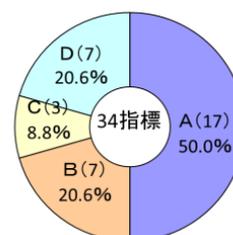
取組項目① 中小企業等への再建支援と復興に向けた取組

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 70.6%（24指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 29.4%（10指標）

実質的遅れ 2.9%（1指標）

【対第1期末目標】



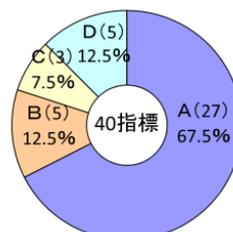
取組項目② ものづくり産業の新生

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 80.0%（32指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 20.0%（8指標）

実質的遅れ 0.0%（0指標）

【対第1期末目標】



3 なりわいの再生-II 商工業

復興実施計画における主な取組の進捗状況（平成26年4月）〔平成26年4月24日〕

1 復興支援ファンド設立支援事業

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
岩手県産業復興相談センター の相談受付件数（全業種）	625企業	495企業	79.2%
二重債務対策支援件数	625件	149件	23.8%

（H26.3.31現在）

2 中小企業東日本大震災復興資金貸付金事業

	平成25年度の目標値	平成25年度実績値	平成25年度目標に対する 進捗率
融資額（全業種）	500億円	425億1,492万円	85.0%

（H26.2.28現在）

3 中小企業東日本大震災復興資金保証料補給事業

	平成25年度の目標値	平成25年度実績値	平成25年度目標に対する 進捗率
保証料補給額（全業種）	8億8,320万円	9億4,557万円	107.1%

（H26.3.31現在）

4 海洋研究拠点形成促進事業

	第1期に掲げる 目標値	実績値（累計）	第1期目標に対する 進捗率
三陸をフィールドとした 研究件数	7件	7件	100%

（H26.3.31現在）

復興状況を示す「客観指標」に係る出典データ

いわて復興インデックス報告書（第10回）〔平成26年5月26日〕

【倒産】

●企業倒産件数（年度累計）（沿岸）〔-〕〔平成25年4月～平成26年3月：0.0%（前年同期間比）〕

指標				データ（年度累計）			
第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	項目	第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	単位
-40.0%	-44.4%	+0.0%	前年同期間比	9	5	5	事業所

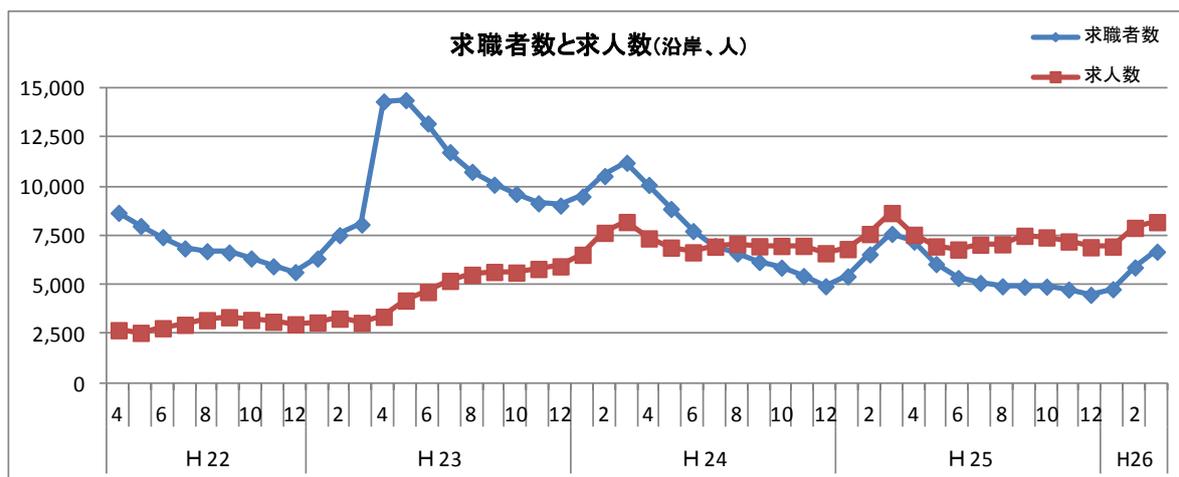
平成25年4月から平成26年3月までの企業倒産件数（年度累計）は5件で、前年同期間と同じとなった。

【雇用】

●有効求職者数（沿岸）〔-〕〔平成26年3月：-11.9%（前年同月比）〕

指標				データ			
第2回 (H24.3)	第6回 (H25.3)	第10回 (H26.3)	項目	第2回 (H24.3)	第6回 (H25.3)	第10回 (H26.3)	単位
+38.9%	-32.3%	-11.9%	前年同月比	11,212	7,595	6,689	人

平成26年3月の有効求職者数は6,689人で、前年同月比で11.9%減となった。有効求職者数は震災直後の平成23年5月以降、全体として見れば減少傾向が続いており、指標（前年同月比）については平成24年4月以降24ヵ月連続でマイナスとなっている。



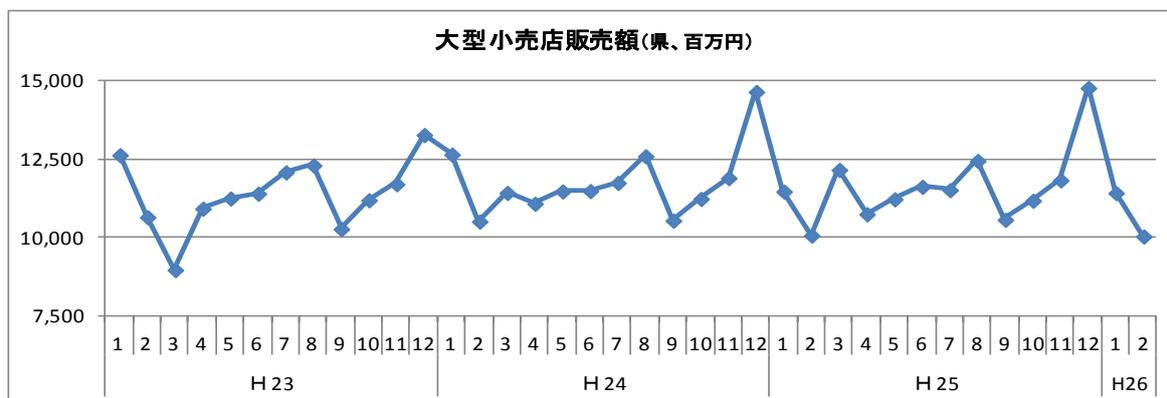
3 なりわいの再生-II 商工業

【商工業】

●大型小売店販売額（県）〔平成 26 年 2 月： **-0.3%**（前年同月比）〕

指標				データ			
第 2 回 (H24. 2)	第 6 回 (H25. 2)	第10回 (H26. 2)	項目	第 2 回 (H24. 2)	第 6 回 (H25. 2)	第10回 (H26. 2)	単位
-1.3%	-4.3%	-0.3%	前年同月比	10,518	10,070	10,040	百万円

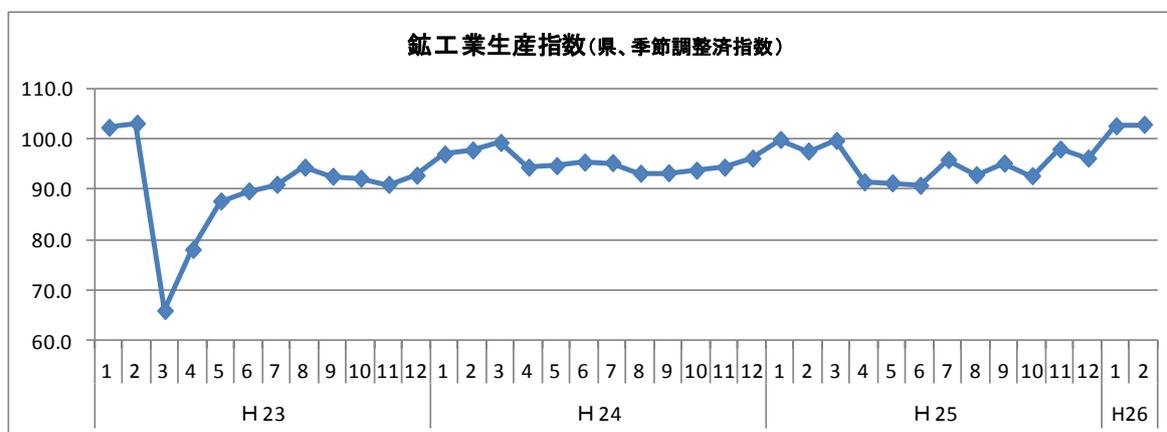
平成 26 年 2 月における県全体の大型小売店販売額は 10,040 百万円であり、前年同月比で 0.3%減となった。また、既存店ベースでの前年同月比は平成 25 年 4 月～平成 26 年 2 月の 11 ヶ月連続して前年水準を下回っている（平成 26 年 2 月は前年同月比 1.1%減）。

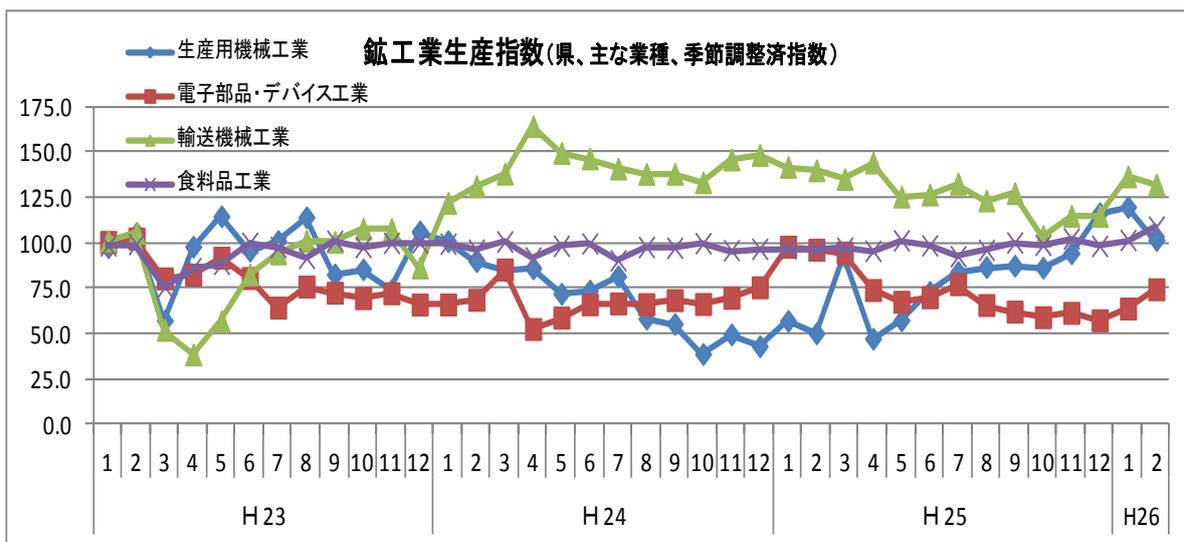


●鉱工業生産指数（県）〔平成 26 年 2 月： **+5.4%**（前年同月比）〕

指標				データ			
第 2 回 (H24. 2)	第 6 回 (H25. 2)	第10回 (H26. 2)	項目	第 2 回 (H24. 2)	第 6 回 (H25. 2)	第10回 (H26. 2)	単位
+1.1%	-6.0%	+5.4%	前年同月比	99.4	93.4	98.4	—

平成 26 年 2 月における県全体の鉱工業生産指数（原指数）は前年同月比 5.4%増の 98.4 となった。また、季節調整済指数は 102.8（前月比 0.3%増）となり、電子部品・デバイス工業、食料品工業などが押し上げる形となっている。



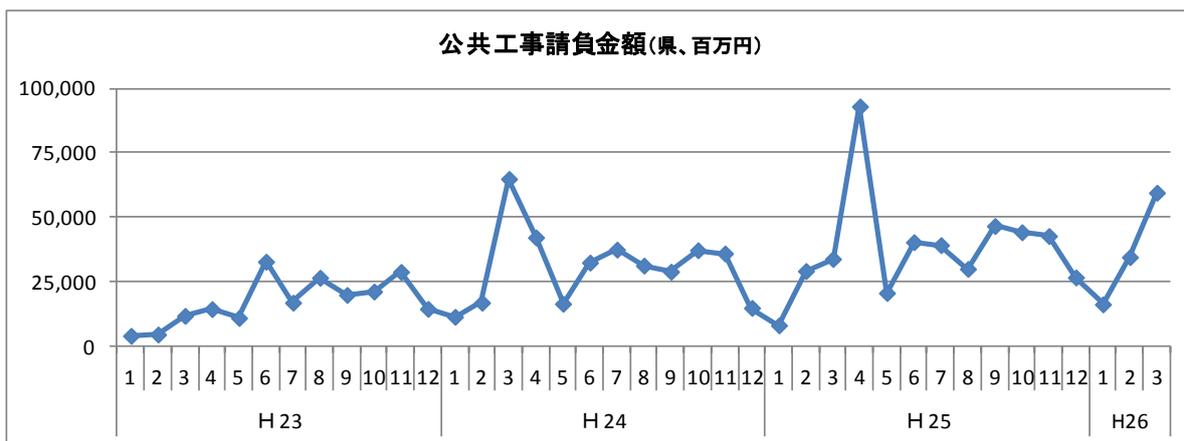


●公共工事請負金額(年度累計)(県)[平成25年4月～平成26年3月: +41.9%(前年同期間比)]

指標				データ(年度累計)			
第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	項目	第2回 (H24.3末)	第6回 (H25.3末)	第10回 (H26.3末)	単位
+65.0%	+24.6%	+41.9%	前年同期間比	279,295	347,916	493,620	百万円

平成25年4月から平成26年3月までに県内で発注された公共工事請負金額*(年度累計)は、前年同期間比41.9%増の493,620百万円となった。平成26年3月単月で見ると、前年同月比75.9%増の59,494百万円となっている。

*国、独立行政法人、県、市町村等の公共工事請負金額の合計



県民の復興の実感を示す「県民意識」に係る出典データ

平成 26 年 復興に関する意識調査〔平成 26 年 4 月 24 日〕

◇被災した商工業者の事業の再開

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.50、進捗への実感は 2.47、復興促進ニーズ度は 2.03 となっており、順位も昨年と同程度の 14 位となっている。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.50	4.55	4.63	2.47	2.21	2.09	2.03 (14)	2.34 (15)	2.53 (15)
沿岸部	4.45	4.51	4.61	2.64	2.42	2.28	1.81 (15)	2.09 (15)	2.33 (17)
沿岸北部	4.46	4.55	4.54	2.85	2.49	2.47	1.61 (15)	2.06 (12)	2.07 (21)
沿岸南部	4.44	4.49	4.64	2.57	2.39	2.22	1.88 (16)	2.10 (16)	2.42 (17)
内陸部	4.51	4.56	4.63	2.42	2.16	2.04	2.09 (14)	2.40 (15)	2.59 (11)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇被災した商店街の再開、新たな商店街の整備

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.51、進捗への実感は 2.30 となっている。復興促進ニーズ度は 2.21 と減少したが、順位は昨年の 13 位から 7 位と上昇を続けている。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.51	4.56	4.62	2.30	2.11	2.13	2.21 (7)	2.45 (13)	2.49 (17)
沿岸部	4.50	4.51	4.60	2.40	2.30	2.36	2.10 (8)	2.21 (13)	2.25 (21)
沿岸北部	4.46	4.49	4.57	2.62	2.42	2.46	1.85 (6)	2.08 (11)	2.11 (19)
沿岸南部	4.51	4.52	4.62	2.33	2.26	2.32	2.18 (8)	2.26 (14)	2.30 (20)
内陸部	4.51	4.57	4.63	2.27	2.06	2.07	2.24 (8)	2.51 (12)	2.56 (13)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇ものづくり産業（製造業）の集積、新産業の創出

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.38、進捗への実感は 2.46 となっている。復興促進ニーズ度は 1.92 で、順位は 15 位に上昇している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.38	4.46	4.50	2.46	2.25	2.14	1.92 (15)	2.22 (19)	2.36 (20)
沿岸部	4.39	4.45	4.53	2.44	2.25	2.05	1.95 (11)	2.20 (14)	2.48 (13)
沿岸北部	4.38	4.42	4.39	2.58	2.38	2.19	1.79 (8)	2.04 (15)	2.20 (15)
沿岸南部	4.40	4.46	4.59	2.39	2.19	2.00	2.01 (11)	2.27 (13)	2.59 (12)
内陸部	4.38	4.47	4.49	2.47	2.25	2.16	1.91 (17)	2.22 (22)	2.33 (20)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

〔用語の説明 復興に関する意識調査〕

復興促進ニーズ度：次式により、「重要度」の値から「進捗への実感」の値を減じて算出する。

$$\text{「復興促進ニーズ度」} = \text{「重要度」} - \text{「進捗への実感」}$$

重要度が高く、住民の復旧・復興の実感が低い状態を復興を急ぐニーズが高いと読む。

なお、順位は調査を行った29項目の中で数値が高い順位。

III 観光

3 なりわいの再生

第1期復興実施計画の「事業進捗」に係る出典データ

復興実施計画（第1期）の施策体系・事業に基づく進捗状況〔平成26年5月26日〕

区分	対第1期末目標進捗率
A	100%以上
B	100%未満 80%以上
C	80%未満 60%以上
D	60%未満

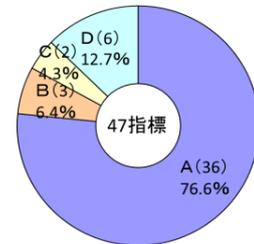
分野全体

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 83.0%（39指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 17.0%（8指標）

実質的遅れ 2.1%（1指標）

【対第1期末目標】



取組項目

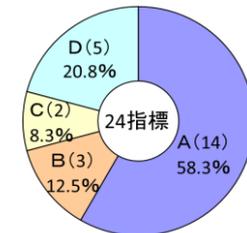
取組項目① 観光資源の再生と新たな魅力の創造

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 70.8%（17指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 29.2%（7指標）

実質的遅れ 0.0%（0指標）

【対第1期末目標】



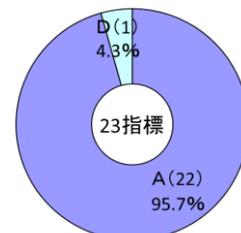
取組項目② 復興の動きと連動した全県的な誘客への取組

第1期末目標に対する進捗率

- ・「A」及び「B」（80%以上） 95.7%（22指標）
- ・「C」及び「D」（80%未満） 4.3%（1指標）

実質的遅れ 4.3%（1指標）

【対第1期末目標】



復興実施計画における主な取組の進捗状況（平成26年5月）〔平成26年5月26日〕

いわて希望の旅誘客促進事業（県内主要観光地（14ヶ所）における観光客入込状況）

期 間	入込客数
平成25年4月～平成26年3月	528.5万人回
平成24年4月～平成25年3月	540.6万人回
平成23年4月～平成24年3月	446.3万人回
対前年比※	97.7%
対前々年比※	118.4%

※「万人回」ではなく「人回」単位で算出した比率

(H26.3.31 現在)

【H26年度における主要な観光イベント等】

- ・いわて三陸観光応援バスツアーの運行(4/5～9/30の土日祝日等。一部11/30まで。)
- ・三陸鉄道全線運行再開観光プロモーション(4/5釜石市、4/6宮古市)
- ・「SL銀河」運行開始観光プロモーション(4/12～13、花巻市、遠野市、釜石市)
- ・「さあ、県営名古屋空港から出かけよう！」(4/19～20、名古屋市)
- ・東京ドーム東北プロモーション(楽天VS西武)(4/24、東京都)
- ・銀座柳まつり(5/5、東京都)
- ・三陸復興国立公園を活用した観光PR（5/24、宮古市）



銀座柳まつり(東京都)

震災メモリアルパーク中の浜
開園記念式典(宮古市)

復興状況を示す「客観指標」に係る出典データ

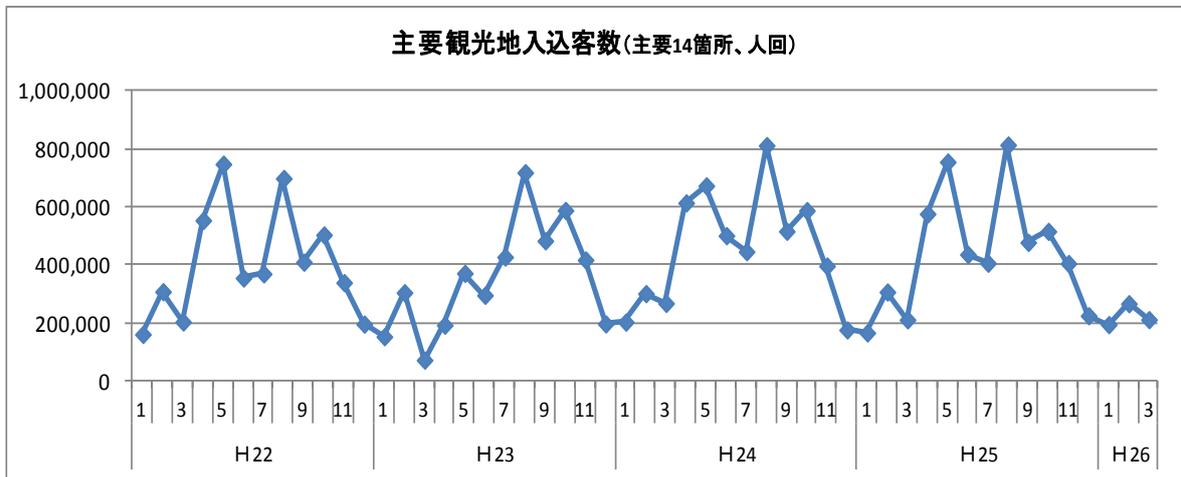
いわて復興インデックス報告書（第10回）〔平成26年5月26日〕

【観光】

●主要観光地入込客数（県）〔平成26年1月～3月： -1.6%（前年同期間比）〕

指標				データ			
第2回 (H24. 1-3)	第6回 (H25. 1-3)	第10回 (H26. 1-3)	項目	第2回 (H24. 1-3)	第6回 (H25. 1-3)	第10回 (H26. 1-3)	単位
+45.9%	-11.4%	-1.6%	前年同期間比	771,892	683,529	672,306	人回

平成26年第1四半期（平成26年1月～3月）における県内の主要観光地入込客数は672,306人回であり、前年同期間比で1.6%減となった。



県民の復興の実感を示す「県民意識」に係る出典データ

平成 26 年 復興に関する意識調査〔平成 26 年 4 月 24 日〕

◇観光客の回復・増加

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.23、進捗への実感は 2.79 となっている。復興促進ニーズ度は 1.44 に減少、順位は昨年と同程度で推移している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.23	4.33	4.29	2.79	2.36	2.27	1.44 (26)	1.97 (24)	2.01 (24)
沿岸部	4.17	4.22	4.23	2.68	2.26	1.94	1.49 (23)	1.96 (20)	2.29 (19)
沿岸北部	4.27	4.30	4.27	3.23	2.43	2.09	1.04 (25)	1.87 (20)	2.17 (16)
沿岸南部	4.12	4.19	4.21	2.45	2.19	1.87	1.67 (21)	2.00 (19)	2.34 (19)
内陸部	4.24	4.35	4.30	2.82	2.38	2.35	1.43 (27)	1.97 (24)	1.95 (24)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

◇被災した観光施設の復旧

平成 26 年の調査結果では、県全体で、重要度は 4.38、進捗への実感は 2.49 となっている。復興促進ニーズ度は 1.90 となっており、順位も昨年と同程度で推移している。

	重要度			進捗への実感			復興促進ニーズ度		
	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年	平成25年	平成24年	平成26年 (順位)	平成25年 (順位)	平成24年 (順位)
県全体	4.38	4.42	4.41	2.49	2.14	2.02	1.90 (18)	2.27 (17)	2.38 (19)
沿岸部	4.30	4.32	4.33	2.57	2.24	2.06	1.73 (17)	2.08 (16)	2.26 (20)
沿岸北部	4.40	4.46	4.40	2.86	2.42	2.16	1.53 (17)	2.04 (14)	2.24 (11)
沿岸南部	4.27	4.26	4.30	2.46	2.16	2.02	1.80 (18)	2.10 (17)	2.28 (21)
内陸部	4.40	4.44	4.43	2.46	2.12	2.02	1.94 (16)	2.32 (17)	2.42 (19)
(県全体全項目平均)	4.50	4.54	4.57	2.53	2.23	2.15	1.96	2.31	2.42

〔用語の説明 復興に関する意識調査〕

復興促進ニーズ度：次式により、「重要度」の値から「進捗への実感」の値を減じて算出する。

$$\text{「復興促進ニーズ度」} = \text{「重要度」} - \text{「進捗への実感」}$$

重要度が高く、住民の復旧・復興の実感が低い状態を復興を急ぐニーズが高いと読む。

なお、順位は調査を行った 29 項目の中で数値が高い順位。

